

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【地震一口メモ】

震度について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

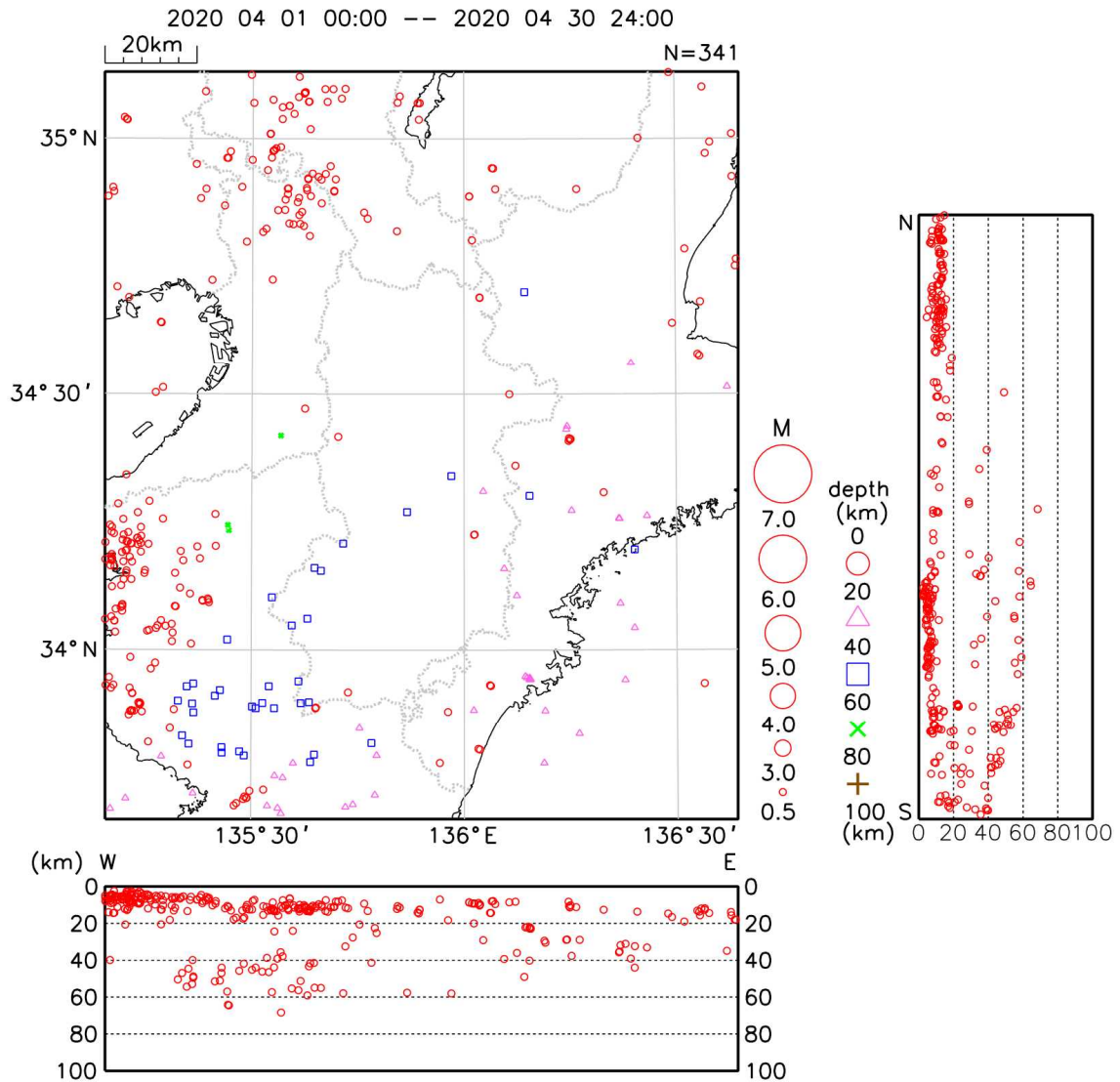
奈良地方気象台

2020年4月

# 【奈良県の地震活動図】

## 震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



## 【奈良県地震概況】

奈良県内で4月に震度1以上を観測した地震はありませんでした。

# 【地震一口メモ】

～震度について～

気象庁は、24時間体制で地震の発生を監視し、震度1以上を観測する地震が発生したときには、地震情報を発表しています。地震情報は防災機関等で地震発生時の初動対応として活用されているほか、気象庁ホームページや報道機関等を通じて広く皆様にお知らせしています。震度はそれぞれの場所での地震の揺れの程度を示す指標です。地震情報には気象庁のほか、地方公共団体、防災科学技術研究所が設置した震度計の観測データも活用しています。奈良県内の震度計は52地点（内訳は気象庁が5地点、地方公共団体が46地点、防災科学技術研究所が1地点）です。下の表は、震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。

## 震度とゆれの状況

<b>0</b>	 <p><b>【震度0】</b> 人は揺れを感じない。</p>	<b>1</b>	 <p><b>【震度1】</b> 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<b>2</b>	 <p><b>【震度2】</b> 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<b>3</b>	 <p><b>【震度3】</b> 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<b>4</b>	 <p><b>【震度4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほとんどの人が驚く。</li> <li>● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。</li> <li>● 座りの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul>	<b>6弱</b>	 <p><b>【震度6弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 立っていることが困難になる。</li> <li>● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul> <p style="font-size: small;">耐震性が高い      耐震性が低い</p>				
<b>5弱</b>	 <p><b>【震度5弱】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>● 棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul>	<b>6強</b>	 <p><b>【震度6強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はわないと動くことができない、飛ばされることもある。</li> <li>● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。</li> <li>● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。</li> <li>● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</li> </ul> <p style="font-size: small;">耐震性が高い      耐震性が低い</p>				
<b>5強</b>	 <p><b>【震度5強】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 物につかまらなさと歩くことが難しい。</li> <li>● 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。</li> <li>● 固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>	<b>7</b>	 <p><b>【震度7】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。</li> <li>● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</li> </ul> <p style="font-size: small;">耐震性が高い      耐震性が低い</p>				

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去4年間程度分掲載しています。  
URL : <https://www.jma-net.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

